

受 験 番 号						氏 名	

2017 (平成29) 年度放送大学
大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻
人間発達科学プログラム
筆記試験問題

試験日：2016 (平成28) 年10月2日 (日)

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。**問題冊子は、表紙、白紙、問題3頁の順に綴じられています。**冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号、「大問題」番号、「大問題」ごとに何枚目であるかを解答用紙別に必ず記入してください。小問題及び選択問題を解答する際の番号は、解答用紙のマス目の外に記入してください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、**人間発達科学プログラムは2枚**で解答してください。指定された字数を超えないよう、注意して解答してください。
8. 問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはいけません。
9. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始から40分を経過した後は、問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

次の各問に答えなさい。ただし、**第1問**については(1)、(2)の2問全てに解答し、**第2問**については、(1)、(2)のいずれか1問を、自分が専攻したいと思う分野の設問から選択して解答しなさい。

第1問 (全員が解答)

以下の文章は、成人の学習動機に関するフル (Houle, C.O.) の研究についての説明である。この文章を読み、下の(1)、(2)の問いに答えなさい。

The literature discussing adult motivation to learn is diverse, drawing on psychology, educational psychology, anthropology, and sociology (Schlesinger, 2005). Exploration of motivation in adult learning was initiated by Houle's 1961 publication of *The Inquiring Mind*, around the same time need-driven and cognitive motivation theories were gaining popularity. Houle's book reported an in-depth study of 22 adults engaged in continuous learning. He interviewed adults about their learning experiences and self-perceptions of themselves as learners. He identified three types of learning orientations in his analysis. *Goal-oriented learners* engage in learning as a means to attaining another goal. Goal-oriented learning tends to be extrinsic and economically motivated. For instance a person might attend a training program to become competitive for a promotion or learn woodworking to start a cabinet-making business. *Activity-oriented learners* participate for the opportunity to socialize with other learners and for the sake of the activity. A person might attend a photography class to meet new people and engage in conversation, or join a book club to meet new friends with similar interests. Activity-oriented learning might be extrinsically or intrinsically motivated and driven by social and need-driven motivation. Finally, *learning-oriented learners* are focused on developing new knowledge for the sake of learning. For example, a person might devour everything available on the U.S. Civil War based on a love of the subject. Learning-oriented learners are likely intrinsically and cognitively motivated. Motivation is fluid and our motivations toward learning activities can include multiple goals or change. Suppose you take a watercolor painting class for the joy of learning it, then discover you are good at it and start a business selling your paintings. A primary "learning" motivation becomes also "goal-oriented."

Source: Sharan B. Merriam & Laura L. Bierema (2014) *Adult Learning-Linking Theory and Practice*, Jossey-Bass.

(1) フール (Houle) の研究方法が書かれた文中の下線部を日本語に翻訳しなさい。

(2) フール (Houle) により提示された学習者の類型を、全体として300字以内で説明しなさい。

第2問

次の(1)、(2)のいずれか1問を選択して解答しなさい。選択にあたっては、自分が専攻したいと思う分野の設問を選び、解答のはじめには、必ずどの問題に対して解答するのかその番号及び分野名を明記すること。

(1) [教育学分野]

以下にあげた新聞報道記事を読み、文部科学大臣によって表明された「ゆとり教育」への決別宣言に関して考えを述べよ。ただし、記述の内容は単なる所感ではなく、「アクティブ・ラーニング」、「ゆとり教育」、「詰め込み教育」、「学習指導要領」等に関する自らの知見や認識を踏まえ、批判的な視点にも配慮した論理的なものとする。

(800字以内)

馳浩文部科学相は10日、今年度中に予定されている次期学習指導要領改定に向け、授業内容を減らしたかつての「ゆとり教育」には戻らないとする見解を公表した。次期指導要領では、児童・生徒が討論や体験などを通じて課題を探究する学習形態「アクティブ・ラーニング」の全面的な導入を目指しているが、教育関係者の一部から「ゆとり教育の理念を復活させる」と誤解されていることを受けた対応という。

馳氏は10日の閣議後の記者会見で「『ゆとり教育』が『緩み教育』というふうに関連した解釈で現場に浸透してしまった。どこかで『ゆとり教育』との決別宣言を明確にしておきたいと思った」と話した。

馳氏は「教育の強靱（きょうじん）化に向けて」と題する見解で「学習内容の削減を行うことはしない」と強調。「『ゆとり教育』か『詰め込み教育』かといった、二項対立的な議論には戻らない。知識と思考力の双方をバランスよく、確実に育む」とした。そのうえでアクティブ・ラーニングについて「知識が生きて働くものとして習得され、必要な力が身につくことを目指すもの。知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善を行う」と説明している。

指導要領の改定はほぼ10年ごとに実施される。前回の2008年は、詰め込み教育の反省で1970年代から軽減されてきた授業内容を約40年ぶりに増やし、「脱ゆとり」と呼ばれた。今年度改定される指導要領では、思考力や表現力の育成を重視する方針だが、これが一部で「知識の軽視」との誤解を招いており、改めて文科省としての考え方を示したという。

(毎日新聞 2016/5/10 夕刊記事より)

以上

(2) [心理学分野]

一人の教員から同じ説明を聞いた学生のなかに多様な理解が成立することは珍しいことではない。この違いは学生がそれぞれ異なる枠組みに基づいて理解を構成したことで説明できる場合がある。このような人が持つ枠組みが理解の成立に果たす役割に関連し、以下の3つの問いに答えよ。

(全体で800字以内)

- ① 枠組みの違いによって、人の心のなかに多様な理解が成立する具体例をあげよ。
- ② 既存の枠組みがあることが新しい理解の成立を難しくする場合がある。そのような具体例をあげよ。
- ③ 上の②における事例で、古い枠組みを壊し新しい理解を成立させるためにはどうすればよいか、具体的方策をなるべくたくさん提案せよ。